＊＊＊　すてきな宜野湾中、愛される宜野湾中、誇れる宜野湾中　＊＊＊

～ 宜野湾中学校で、社会人になった時に必要な「生きる力」を身に付けよう！ ～

ねんじゅうむきゅう

年中夢求

学校だより
令和３年度　６月号

令和３年６月２５日（金）
宜野湾市立宜野湾中学校長 原田 利明

中頭地区中学校総合体育大会

バドミントン女子団体優勝

卓球男子・女子 団体 準優勝

ハンドボール 男子 3位

６月５・６日、地区中体連が開催され、上記の部活に加え、次の部活が県大会へ進出しました。

ソフトボール女子、 ハンドボール女子、 野球（大会途中、現在ベスト8）

テニス男子シングルスベスト 16 近藤凌平、 女子ダブルスベスト 16 池原柚佑・我那覇美海

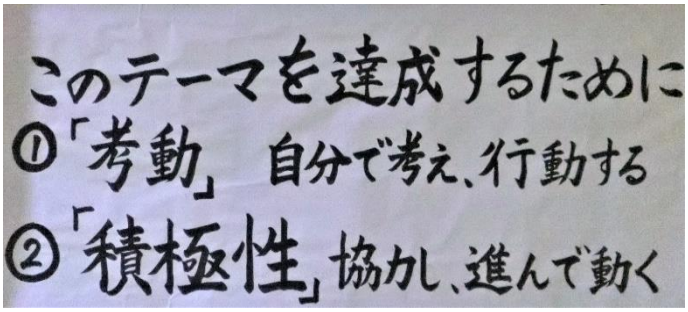
卓球女子シングルスベスト田畑優希、 男子シングルスベスト 16 藤波雄大

残念ながら敗れた部活も、全力を発揮、充実した大会となったようです。お疲れ様!!　まだ、大会途中のサッカー、野球、バドミントン個人戦、「今、ここ、自分」と「宜野湾魂」を発揮して がんばれー!!

※ 宜野湾中学校ホームページではカラーでご覧いただけます!!

裏面につづく➪

令和３年度 生徒総会！！



５月２８日５校時に、令和３年度生徒総会が開かれました。今年もコロナ対策のため各教室での実施となりましたが、放送による説明と、動画による説明及び質疑への回答、掲示による質疑への回答と、生徒会が工夫し、全生徒に分かりやすく、また、全生徒が参加した形で実施されました。その結果、今年度の生徒会年間スローガンが「考進」と決定し、考えて行動する「考動」と、協力し進んで動く「積極性」に取り組みスローガン「考動」を達成していくことが確認されました。

各専門委員会の活動計画や質疑への回答は、各専門部長がビデオ動画にテロップ入りで収録して行われました。生徒会役員の皆さん、コロナに負けず、いろいろなアイデア・工夫ありがとうございました。

また、継続審議となった校則に関し、議論、意見の収集、生徒会としての意見の集約をお願いします。

校長講話

○ 羽生結弦選手が、強敵パトリック・チャン選手を倒すために考え実践したことは、「今、ここ、自分」に集中すること!!

☆ 今 とは ➪ 今やらないといけないことに集中しているか、先のことをあれこれ心配してしまっていないか。ということ!!

☆ ここ とは ➪ この場所、この場面に集中しているか。ということ!!

☆ 自分 とは ➪ 自分自身に集中しているか。いろんな事を人のせいにしていないか。ということ!!

○ 羽生結弦選手が、エキシビジョンでよく使っていた 指田郁也（さしだ　ふみや）さんの「花になれ」という歌に、次のような歌詞がある

☆ 足下のその花でさえ 生きることを迷いはしない　「生きてゆけ」
まっすぐ咲く花のように 人はだれも強くなれる
その命は強く輝く、風に立つ一輪、僕たちも花になれる

※ これは、みんな、「花形スターになれ!!」と言っているのではなく、
平凡でもいい　一生懸命がんばって　自分の命をいっぱいに輝かせて　生きていけ!!
一人一人が自分の花をしっかりと咲かせるんだ!!・・・と言っている!!

○ 相田みつを さんの「自分の花」という詩に
名もない草も　実をつける　いのちいっぱいに　自分の花を咲かせて・・・とある。

○ 彼らが伝えたいことは

☆ 一生懸命がんばって生きていけ!! 失敗しても、反省して成長すればいい。

☆ 夢を持て!! 夢は変わっていってもいいが、持ってなければ見つける努力をしろ!!

☆「今、ここで、自分がやるべきこと」を強く意識していこう!!

☆ どんなことがあっても「宜野湾魂」を発揮して、最後まであきらめないでがんばろう!!

ということ。・・・学校でも、自分で立てた「３つの目標」をがんばろう。

子ども達の感想から　3年1組　友寄　優季

今日の校長講話「花になれ」を聞いて思ったことは、今、自分たちにとって大切なことは「今、ここ、自分」なんだなということです。自分の事をちゃんと考え、今に集中、ここに集中、自分に集中を意識することが大切で、それを意識する事で、自分自身の気持ちに勝てるんじゃないかと思いました。指田郁也さんの歌詞にもあったように「あきらめなで、どんな明日も　苦しいほど　その命は輝く」。あきらめたらそこで試合終了。あきらめないことがどんなに苦しくても、その命は誰よりも強く輝く。ということなんだなと思いました。私も、強く光り輝けるように精いっぱい努力したいです。

※ 宜野湾中学校ホームページではカラーでご覧いただけます!!